			登	別市	営	住 宅	入。	居 申 込 言			
申	郵便番号	<u>.</u> 7						(ふりがな)			
込	現住所	住所						氏 名			
者		話(自宅) (会社等)						77			
	(ふ 氏	りがな) 名	続柄	生年	月日	職業	勤務先	の名称及び原	f在地	勤続 年数	年間所得
市	入居者		本人	•	•						
営				•	•						
住					•						
宅	同居す			•	•						
に入	っ る 扶				•						
へ 居	同居する扶養家族			•	•						
すす	族			•	•						
る					•						
者	別居扶養親族			•	•						
等				•	•						
				•	•						
≱ .			•	•							
希望団地	団地名					備考					
地	間取り		階数								

※ 太枠の部分に記入してください。

1 所得	年間収入	年間別	斤得	3	公営住宅法に定	める収入月額	
氏名	д]=	円		所得金額	:	円
<u>氏</u> 名]=	円		- 控除金額	:	円
氏名	_ 円=		円		収入年額	:	円 ÷ 12
	— 所得合計		円		収入月額	:	
2 控除額							
同居・扶養控除額	円×	人	円	4	在	入居収入基準	
老人扶養控除額	円×	人	円	1	一人		
特定扶養親族控除額	円×	人	円				円
障害者控除額	円×	人	円				11
特別障害者控除額	円×	人	円	5	入居収入基準	適合 •	不適合
老齢者控除額	円×	人	円		八九八八五十	<u>√</u> ⊔	1 75 1
寡婦(夫)控除額	円×	人	円		* ₩. Þ		
	控除額合計		円	番	査者名 :		

1 現在住宅以外の建物又は場所に居住している。								
2 保安上危険な住宅や衛生上有害な状態にある住宅に居住している。								
3 他の世帯と同居しているため、著しく生活上不便がある。								
4 住宅がないため、親族と同居することができない。(婚約者含む)								
の 5 住宅の規模、設備又は間取りと世帯構成との関係から衛生上、風紀上又は教育上不適当な居住状								
困態にある。								
6 自己の責めによらない理由で、家主、貸主などから立退を要求され、適当な立退先がない。								
7 住宅がないため、勤務場所から著しく遠隔の地に居住を余儀なくされている。								
状 8 収入に比べて著しく過大な家賃の支払いを余儀なくされている。								
況 9 その他(具体的にお書きください。)								
現在居住している住宅の種類								
現 1 民間アパート ・ 賃貸マンション 2 寮 3 借間・下宿								
在 4 公団 · 公社住宅 5 社宅 6 同居 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
の 7 その他()								
現在居住している住宅の間取り及び家賃・家主								
宅								
の 家賃 円 氏名								
状								
況 現在居住している世帯構成(○をつけてください。)								
妻・子供 人・父・母・兄弟・その他() 計 人								
この申込については、次のことを誓約します。 1 この申込書に記入した事項は、すべて事実に相違ありません。								
2 この申込書に偽りの事項があった場合は、市営住宅の入居決定の取り消しを受けても異議を申し立て								
しません。 3 この申込書に記入した住宅状況について事実調査を受ける場合は、その調査を妨げ、又は拒絶しませ								
δ この中心音に記入した圧毛状況に δ で、です夫嗣且で支げる勿可は、での嗣且で別け、又は拒配しよで ん。								
4 申込者及び申込者と現に同居し、又は同居しようとする親族は、暴力団員による不当な行為の防止等 に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員ではありません。								
年 月 日								
申込者名 印								

入 居 団 地		団地	
住棟・住戸番号	号棟	号	

